

農林金融2017年10月号

農協と地域運営組織との連携をめぐる論点

(寺林暁良)

地域社会の衰退が懸念されるなか、全国で地域運営組織と呼ばれる住民の自治組織の設立が相次いでおり、農協との連携にも期待がかかっている。地域運営組織は「多様な主体の参加」「多様な事業の運営」「活動範囲の広域性」という特徴を持つが、これらは「多様な地域住民との関係づくり」「生活と経済にまたがる事業運営」「支所店の事業エリアとの重なり」というかたちで農協との接点となる。

農協にとって地域運営組織との連携には、組合員や地域住民、地域内の多様な組織との新たな接点づくりといった意義が見いだせる。また、農協には農業の活性化や生活インフラの維持などで役割発揮が求められるが、地域運営組織の「協議」を踏まえることで、地域の実情に即した活動を展開することが重要である。

再生可能エネルギーによる農業経営の多角化

(河原林孝由基)

本稿では、農業との関連性が強い家畜ふん尿等を利用した畜産バイオマス発電(メタン発酵ガス化バイオマス発電)について、北海道を中心とした酪農経営での実践事例を基に、事業モデルを考察し、全国展開に向けた論点を整理している。

酪農経営の規模拡大では、飼養形態のつなぎ飼いやフリーストール(放し飼い牛舎)への変更に伴うふん尿処理の問題があり、畜産バイオマス発電はその解決策となるだけでなく、売電を中心に農業所得を下支えし農業経営の多角化を図るモデルとなりうる。

事業化のポイントとしては、①安定的な事業収入の確保には発電の燃料となるメタンガス(“量”と“質”の問題)の確保と、②処理後残渣(消化液)処分先の見通しがあることがあげられる。

農林金融2017年11月号

農協における農産物の 地域団体商標登録の効果と課題

(尾中謙治)

農産物のブランド化は価格の安定・向上等に有効であり、農協をはじめとした組織等が取り組みを行っている。さらに地域づくりの一環として、地域の農産物等を他地域と差別化するための地域ブランドづくりも行われるようになり、2006年4月には「商標法の一部を改正する法律」が成立し「地域団体商標制度」がスタートしている。

ブランド化の目的や効果という点、ブランドの保護やブランド力の強化(価格の向上)に着目されるが、それ以外にも生産の維持・回復、サブブランドの確立等がある。また、ブランド化の直接的な効果だけではなく生産者や農協、地域への間接的・波及的な効果・影響がある。

課題としては、品質管理、地域団体商標および登録された農産品の認知度向上等がある。

(外国事情)

カナダの林業・木材産業の動向と 木材利用拡大の取組み

(安藤範親)

カナダは豊富な森林資源を背景として、林業のほか木材・木製品、パルプおよび紙製品などの産業が発達しており、素材生産量は1.6億 m^3 と世界4位である。木材関連製品の世界に占める輸出割合は、製材が世界1位、木質パネルが2位、紙パルプが2位、産業用丸太が4位である。

行政、企業、業界団体、研究機関、大学が連携して木材利用拡大に向けた活動や研究が進められており、輸出先に対しては地域別の市場調査を実施するなど、更なるカナダ産木製品の利用拡大が目指されている。また、カナダは木材利用先進国としても名高く、世界一高い木造18階建ての高層建築物を建築するなど国内においても積極的な木材利用が進められている。

農林金融2017年11月号

国家戦略特別区域における 農業支援外国人受入事業の概要

(石田一喜)

2017年6月に成立した国家戦略特別区域法の改正により、外国人労働者の農業分野での雇用を可能とする「農業支援外国人受入事業」の実施が決定した。

そこで本稿では、本事業が創設された背景と創設までの経緯をまとめたうえで、事業の仕組みと特徴を整理した。また、今後本事業が全国展開される場合に留意すべきポイントの指摘も行った。

当面は特区限定の事業であるが、既に農業現場からは早期の全国展開を求める意見もある。その際は、外国人労働力に依存する生産構造の持続性や国内労働市場への影響を意識することはもちろん、外国人労働者が日本に住む生活者になることを意識した事業として実施することが必要であろう。

書籍案内



2017年8月3日発行 四六判123頁 定価1,200円(税別)
(株)筑波書房

本書は、農協や生協など協同組合がどのように自然エネルギー(再生可能エネルギー)事業に取り組むかを、畜産バイオガス発電、営農型太陽光発電(ソーラーシェアリング)、自然エネルギー産直、ドイツの「エネルギー大転換」と自然エネルギー村を事例に論究した。地域における自然エネルギー事業の取り組みでは、とくに協同組合の出番になっているという提案が積極的に受け止められることを期待している。

金融市場

2017年10月号

潮流 労働力の減少と外国人材の受け入れ

情勢判断

(国内)

- 1 4～6月期からは減速するが、国内景気は改善継続
- 2 2017～18年度改訂経済見通し
(2次QE後の改訂)

(海外)

- 1 ハリケーンの影響は懸念されるが、底堅い米国経済
- 2 小幅鈍化が見込まれる中国経済

分析レポート

- 1 選挙後の高揚感が剥げ落ちるフランス
- 2 百貨店売上高の地域別動向

海外の話題

香港での台風対処術

2017年11月号

潮流 インバウンド市場の拡大と地方分散に向けた視点

情勢判断

(国内)

内外の景気拡大期待を背景に株高進行

(海外)

- 1 ハリケーンの影響は軽微であり、引き続き堅調な米国経済
- 2 中国共産党第19回大会前後の経済・金融情勢

分析レポート

- 1 正念場を迎えた英国
- 2 生協における生活相談・貸付事業の展開
- 3 空き家をめぐる政策・金融・管理(1)

今月の焦点

フィンテックを考える

海外の話題

ロンドンの和食事情